

(1) 概要

本市の公共下水道事業は、阿武隈川下流流域関連公共下水道として昭和50年度から工事に着手、昭和62年度に供用開始し、令和6年度度末の下水道普及率は69.5%、整備面積913.7haとなっています。農業集落排水は、これまでに3地区を整備し、平成26年度末で普及率は4.5%、水洗化率は70%となっています。合併処理浄化槽事業については、個人設置型のみの事業手法で進めています。当市の合併浄化槽普及率は19.6%となっており、整備が遅れている状況にあります。市で策定した「白石市生活排水処理施設整備基本構想」に沿って整備を進めていきます。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率：R6 93.6%

R17 95.8%

R27 100.0%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（流域関連）

令和27年を整備完了として、計画的な整備に努めます。整備にあたって、クイックプロジェクトの技術のうち、①管きよの露出配管、②発生土の管きよ基礎への利用、③道路線形に合わせた施工、④流動化処理土の管きよ施工への利用等について導入を検討し、早期概成及びコスト縮減に努めていきます。

下水道処理人口普及率：R6 69.5%

R17 74.4%

R27 78.6%

2) 集落排水事業（農集）

処理施設が公共下水道へ近接する農業集落排水斎川地区について、事業効率を高めるため、令和27年頃を目途に公共下水道への接続を検討します。農集排の機能強化を踏まえながら適切な運営管理のもと統廃合を進めます。

集落排水等処理人口普及率：R6 4.5%

R17 2.5%

R27 2.5%

3) 合併処理浄化槽整備事業

本市では、個人設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。早期概成に向けて、生活排水未処理家庭への戸別訪問勧誘の推進等を実施していく予定です。浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題となっています。

浄化槽処理人口普及率：R6 19.6%

R17 18.9%

R27 18.9%

(4) 住民との協働

住民理解を深めて頂くための具体的施策として、浄化槽の普及促進活動や融資あっせん制度を検討・PRし、水洗化率向上を図ります。下水道フェア（流域下水道で開催されるイベントにおいて、下水道PRやアンケートの実施）の開催により、水洗化率向上に努めます。年間を通じた未接続世帯の戸別訪問及び工事施工前や供用開始時、受益者負担金納付書発行時等に戸別訪問を実施し、水洗化率・収納率の向上を図ります。